2022年2月1日発行（毎月1回1日発行）

DOYU さいたま

同友会の三つの目的／よい会社　よい経営者　よい経営環境をめざす

MASUDA YOSHIHIKO

増田吉彦

（株）インスピリッツ（大宮東地区会）

【経営理念】
インスピリッツは関わる方すべての夢を本気でかなえる会社です。
- **私たちはテニスの試合を通して、日本全国の人々をつなげます。**
- **私たちはお客様と本気で向き合い、共に成長し、喜びを分かち合います。**
- **私たちは失敗を恐れず、挑戦することをお客様に伝え、自らも実践します。**
- **私たちは人間力を高めるために学び続けます。**

「大人も成功体験で成長する」…そんな思いを胸に起業したほぼ毎日テニスの試合を開催する荒川河川敷にある企業。テニス大会のパイオニア的な存在で地道な活動をしていたが、コロナ禍になり経営状態が変わったとき、社内に内部留保が無いことに気がつく。そんな中、仲間に勧められた経営指針づくりセミナーを受講する事にした結果・・・・

（P7へ続く）

2022-2 February
VOL.525 毎月1日発行

特集　活用していますか？
埼玉中小企業家同友会ホームページがリニューアルされて、早6ヶ月!!
https://www.saitama.doyu.jp

社長の学校®

活用していますか？ 埼玉中小企業家同友会ホームページがリニューアルされて、早6ヶ月!!

https://www.saitama.doyu.jp〈公式サイト〉
スマホでサイト登録が未だの方は、左のQRコードを読み取りサイトの簡易登録を!

ホームページアクセスユーザー数(UU)270.2%、ページビュー数(PV)が370.8%
(2020年5月～2020年10月累計に対して、2021年5月～2021年10月累計)

広報情報化委員会は、リニューアルされたホームページを更に「認知」、「興味関心」、そして「行動」に繋げるよう広報情報化活動に取り組んでいます。

ホームページ(以下、HPと表記)リニューアルを行い半年経過しました。

当初この特集ではリニューアルによる活用事例などを取材し記事にしようと考えていましたが、先日各地区会、委員会のホームページ担当者にご協力いただいたアンケート内容を確認いたしましたところ、そもそもまだ活用できていないという回答が多く見受けられました。それにともないまずHPの認知そして活用をうながすようなことがまず大事と考え記事にしました。

【HPリニューアルの目的について】

そもそもなぜHPをリニューアルしたのか。前回のHPがあまりにも古いためスマホ対応など初歩的な理由がありますが、大きな目的として

・会外の経営者が見て、分かりやすく、経営のヒントや気づきを得られるものにする
・会の多様な活動などを検索でき、見えやすいものにする
・更新がしやすく新しいページが付加しやすいものにする

がありました。

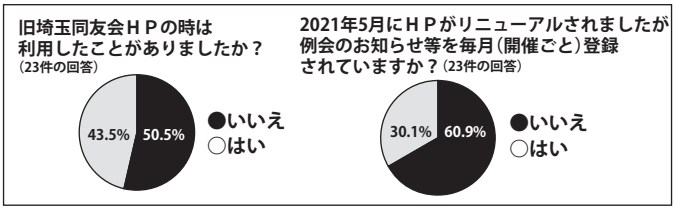
第一に埼玉中小企業家同友会がどのような会なのか、会外の方々にも来ていただき魅力を感じていただくことが目的となります。

そして見ていただいた方に会の様々な活動を知っていただくことになりますが、ここで必須なのが情報量です。

会には同友会らしいさまざまな業種、そして様々な地区会・委員会が設置されています。月で行われている活動を考えると学べる情報の量はかなりのものです。それをHPに活かすため「更新のしやすさ」を改善することにより、新しいページがどんどんアップされる仕組みが導入されました。

【登録作業の問題提起】

このHPの投稿作業は各地区会、各委員会の「HP担当者」に任せられる事になっていますが、半年経ちそれぞれの担当者にアンケートをさせていただいたところグラフのような半数以上の方が例会のお知らせを更新していないという状況となっています。



これは旧HPでも同様で半数以上がHPでの告知を行っておりません。リニューアルした事により告知がしやすくなるようになりましたがそれを活用できている地区会を増やす事ができていません。

登録を行っている方々に登録作業のやりやすさを伺ったところ9割の方がわかりやすいと答えているため登録作業についてはWebアレルギーがなければ問題ないと思われます。

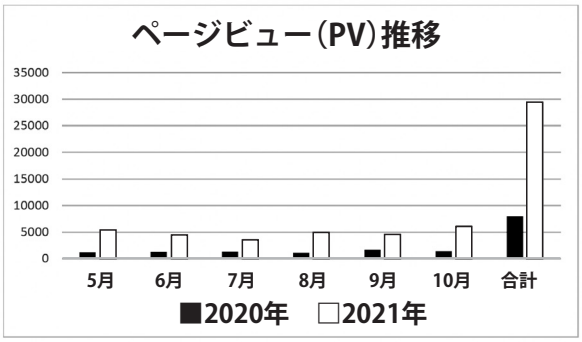
課題は登録作業を行なっていない方の理由です。それが登録する時間、HPが不慣れ、そもそも例会案内はメールなどでも行われているのにHPも登録しなければならない理由がわからない等、要はHPへの必要性の理解が低く、後回しにされている例が多く見られました。

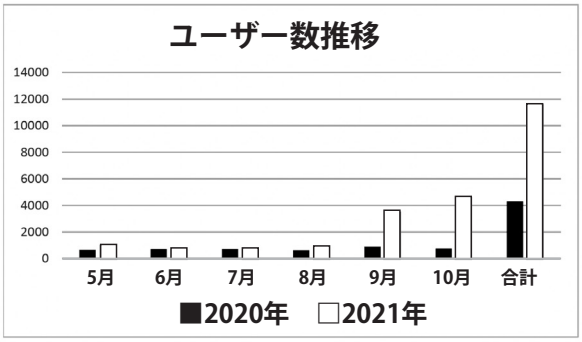
まずもってなぜHPへの登録が必要なのか、それによって何がもたらされるのか。経営でも同じですが従業員にその行動の意味を伝える事ができなければのHPは機能しないでしょう。

【ホームページの可能性】

機能面での充実が表に出ていますが実はそこがメインではありません。埼玉中小企業家同友会は16地区会、9委員会という多くの組織で構成されています。また様々な業種の中小企業が970以上存在し、それぞれが専門的な情報を保有しています。この同友会に関わる全ての情報がHPに集約、蓄積される事により「埼玉中小企業家同友会HP」の価値そのものが上がり新規のアクセスに繋がり会員の増強、会の活性化につながっていきます。

地区会の情報の確認や委員会情報など既存の会員にはそのような使い方しかできないためあまり重要では無いかと思いますが、会全体の活性化により自地区会への活性も見込めるのがこのHPです。今後の活性化に繋がる事例として2件の報告がありました。1つは、新HPを見て青年部の例会に参加した方が2名もいらっしゃったという件。もう1つは、旧HPでは2ヶ月に1回、よくても月に1回だったメールでの問い合わせが、新HPになってからは最低でも月に1回、多くて2週間に1回は問い合わせが来るようになったということです。





このことから鑑みましても運用の確立までは長い道のりではありますが、この考えを皆で共有し、活用していくことが大切になると考えます。

【同友会HPのこれから】

この「HPを使うことでどのような事が起こるのか」を広報情報化委員会として発信していく事が大切かと思います。また正副代表理事及び地区会長、委員長など理事がまず可能性を理解し全会員へ共有していく事が大切です。

これは大変難しい事かもしれません。ただ様々な団体が立ち上がる中、また出席率が低迷していく中、会を活性化させていくのは急務です。使えるツールは組織としてしっかりと使っていく事が重要となりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

【ホームページ担当者からの意見】

またアンケートを取ることで、現在までの効果を実感している声は数件しかないこともわかりました。まだ半年ですのでこれからどうしていくかで、このHPのチカラを発揮できるかの分岐点にもなります。そんななか今回HPアンケートにご意見を頂きました。掲載することで新しい動きになると思いましたので一部紹介させていただきます。

- 行事案内の情報以外に、委員会としての活動紹介の部分の更新は広報情報化委員会にお願いすればいいのでしょうか?たぶん、更新を忘れてしまうので年度ごとなど定期的に確認いただいたほうが嬉しいです。
- 「行事内容」フィールドを豊富にレイアウトできようにして欲しい。行事内容の記載を変更すれば「活動報告」フィールドは必要ないと思う。
- 「活動報告」を入力している地区会は少ない。活動報告を読みたくて「活動報告」で検索しても活動報告が入力されている例会がヒットしない。
- 会員数が少ない地区会は1人ひとりの役割が多い。登録作業もその一つ。それがクリアになるような発想に期待します。
- 例会案内などが見やすくなり、活動がよりわかりやすくなったと思います。
- フリーで雑談を書き込めるスペースがあれば、活用するかもしれません。
- 会員が見る機会がホームページ自体少ないと思うので、どのようにしたら会員が活用のできるホームページにできるのかが問題でしょうか。
- ゲストや知り合いに紹介した際は『中小企業　同友会』等で検索した際に、各ブラウザの検索エンジンの一番上にDOYU NETがくると思いますが、希望の地区例会の案内（チラシ）にたどり着く前に、見にくいからと言われたことが1度あります。
- Facebookなどソーシャルに紐付けなどできたらもう少しリーチしそうな感じがします。その場合どこまでやるか?が凄く重要ですね。YouTubeなどでオープン例会を見てもらうとか?も含めて何をやっているのかの見える化が必要かと思います。
- 記事の掲載方法をもっと色々知りたい。
- 基本的な操作の資料の続編、記事を見映え良くするやり方を知りたいです。分かりやすく! m(_ _)m
- 掲載写真をオリジナルにしてほしい。
- 外部向けの発信が充実して良くなったと思います。
- 引き続き入会見込み者へのアプローチを続けていただければと思います。
- 内部よりも外部の人に向けたものといった理解でいます。そのつもりで記事をアップしていく予定です。今後ともよろしくお願いします。
- 新しいホームページ、すごくいいです! 告知活動が足りないと思う。もっとお祭り騒ぎをした方がいいですね!
- ホームページの発信という意味では、いかに会員さんへメルマガ含めて周知するかだと思うのでホームページの更新のお知らせなどはどんどん発信すべきと思います。
- ホームページ内の例会の記事をシェアするシェアボタンがついている所につきまして、記事ごとに、シェアする画像を例会記事ごとに変えられませんか?

【広報情報化委員会よりホームページご担当者様へ】

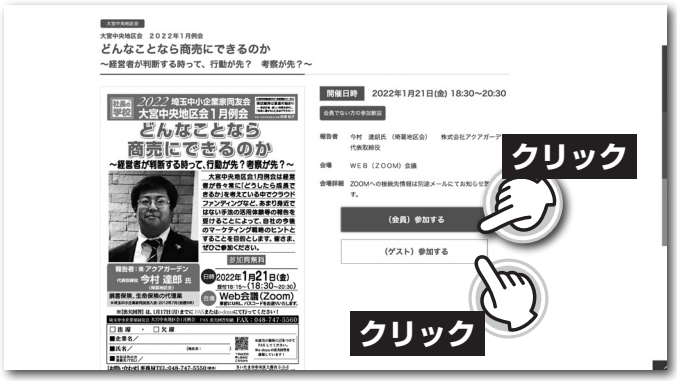
新しい行動は何事も勉強です。例えばWebが不慣れでも作業をしていただく事により自社への返りも間違いなくあります。ミスをするようなチャレンジができるのもこの会のいいところです。ぜひWebが苦手などの気持ちがあったとしても登録にチャレンジしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

取材／記事：広報情報化委員会特集Cチーム
（加藤早苗、鈴木光義、柴田大智、松本賢二、杤込博久）

feature articles

《サイトの簡単な使い方例》

地図内の地区会名をクリックすると
各地区会ページへ



このページで会員・ゲストの参加登録ができます
（一部、会員限定の例会等もあります）

DOYOU さいたまのバックナンバーが見られます

**e-doyu（会員専用）、中同協、就職情報サイト、
入会案内、YouTube、Facebook、Instagramへ簡単に
アクセス可能**

下記は「DOYOU さいたま」Vol.509（2020 年 9 月号に掲載）

埼玉中小企業家同友会 SNSアカウントのご紹介

**ホームページリニューアルに伴い
下記の同友会アカウントを開設しました！**

Facebook ： 埼玉中小企業家同友会(@saitamadoyukai)

Twitter ： 埼玉中小企業家同友会(@saitama_doyukai)

Instagram ： 埼玉中小企業家同友会(@saitama_doyukai)

YouTube ： 埼玉中小企業家同友会

FOLLOW ME!

Facebook　Twitter　Instagram　YouTube

会内の情報共有とともに、若者世代を含めた外部へ向けて同友会を発信しています。また、様々な情報収集にも役立てていきます。
たくさんの フォロー、いいね、チャンネル登録
よろしくお願いします!!

2021共同求人・社員教育活動 全国交流会 in 宮城

地域ぐるみで人が育つ!採用と共育で未来をつくる中小企業 ～復興から次のステージへ～

11月18日(木)～ 11月19日(金) 会場:パレスへいあん

11月18日～19日に中同協2021共同求人・社員教育活動全国交流会が宮城で開催され37同友会・中同協から276名が参加し、経営体験の交流や白熱した討議が行われました。
1年9ヶ月ぶりにリアルで開催となった全国行事に埼玉同友会からは6名が参加しました。その報告をここにご紹介します。

2021共同求人・社員教育活動全国交流会の、初日の第2分科会では「三位一体はエンドレス～人づくり5年・風土づくり10年～」というテーマで、石川同友会㈱宗重商店の宗守重泰氏より報告がありました。

宗守氏は、大手デパートに就職後、事情により家業を引き継ぎました。最初のころは社員のせいにしていた部分もありましたが、自ら変わらなければいけないと感じ、同友会に入会し、経営指針書を作成したとのこと。経営指針書を社内に共有することにより、社員の意識も変わり始め、会社が変わりました。大事なのは経営者の覚悟で、できない理由を言わずに、自ら行動することだと感じました。

2日目は「社員一人ひとりが生きる企業に～長期的なビジョンを描き、三位一体の企業づくりの実践を～」というタイトルで広浜泰久氏(㈱ヒロハマ)、宮﨑由至氏(㈱宮﨑本店)のパネルディスカッションが行われました。両社とも、コロナ禍の中で、社員が自ら考えて行動できることが素晴らしいと思いました。㈱ヒロハマの社員さんは労働時間が制限されるなか、休憩時間等を工夫して仕事をこなし、㈱宮﨑本店では、国内の飲食業界が厳しい状況の中で、社員さんが自ら語学を勉強して、海外に販路を拡大したとのこと。両社とも、常日頃から非常事態を想定してどうしたらよいかを考えているので、いざというときに行動できるのだと思います。毎日の積み重ねがいかに重要かを改めて感じました。　（社員教育委員会 小島秀孔 記）

初日は、㈱宗重商店の宗守重泰氏の「三位一体はエンドレス～人づくり5年・風土づくり10年～」の報告を聞いてきました。

産廃業者さんのリアルな現状から労働観・職業観が時代の変化で変わっても三位一体の経営は不変であり何事も諦めずに実践していくことが大切であると話されていました。またグループ討論でも全国の経営者たちが経営姿勢の確立と経営理念の大切さで熱く討論が行われました。理念を中長期ビジョンにどの様に落とし込むのか、対等な労使関係とは。などあっという間に時間が過ぎていきました。
2日目は、㈱ヒロハマの広浜会長と㈱宮﨑本店の宮﨑会長が報告者で㈱EVENTOSの川中社長がコーディネーターとなりディスカッションが行われました。

コロナになり社員をどの様に守るのか企業としての責任をどの様に全うするのか! 経営者の覚悟が問われる報告でした。こういう時だからこそ日頃の同友会の学びの実践の真価が問われる、常に長期ビジョンを見据えながら経営を行っているのか、自社の採用計画もその場しのぎになっていないのか報告を聞きながら自らの未熟さに気づかされ続けました。

また「経営理念と企業の繁栄は両輪でありどちらか片方だけではダメだ。経営者は企業を成長させなければいけない。その為にも共に働く仲間を守らなければいけない」と改めて感じました。　（共同求人委員会 山本成年 記）

『ポジティブ・デビアンス』を学び、離職率低減と課題解決に役立てよう！ 社員教育委員会オープン学習会開催

報告者:長尾素子氏〈拓殖大学教授〉

社員教育委員会オープン学習会が12月8日(水)開催され、25名の方がオンラインを通して真剣に学びました。同友会が参画している寄付講座の、拓殖大学の長尾教授から、「ポジティブ・デビアンス」(以下、PD)という新しい考え方により、若者の早期離職など課題を解決する手法について報告いただきました。従来の課題解決は、問題の原因を分析し解決策へつなげるというネガティブな面に目を向けていました。それに対してPDでは、既に課題を解決している組織や人を特定し、その組織や人が持っているPDを発見し普及させていくというものでした。このコペルニクス的発想の転換は、昭和世代では思いつきにくく、ミレニアム/Z世代など若者にとっては適応しやすい考え方だと思います。グループ討論では、ひとりのメンバーが抱える課題を設定し、それを他メンバーとともにPDの特定・発見により解決へつなげるというプロセスに挑戦しました。当初は「難しい」という声も聞かれましたが、PDとは「片隅の成功者」という説明を受け納得しました。そこが「外部の成功者」を参考にするベストプラクティスとの違いでしょうか。

長尾教授も各グループ討論に加わり、議論を大いに盛り上げてくれました。入社後に定着し活躍している社員のPDを特定し、その可能性を備えた応募者を採用するなど、求人においても効果がありそうです。さて、あなたのまわりにもいませんか、何気なく課題をクリアしている「片隅の成功者」が…。(古木孝典 記)

五感を刺激して脳疲労を回復!

水上 真紀
（中部地区会）
㈱ノワテック
埼玉県深谷市長在家 975-1
TEL：048-583-5892
http://www.nowa-tec.jp/

渋沢栄一生誕の地、深谷市で電気工事業を営んでいます。

電気工事業の中でも、わが社は計装（ケイソウ）工事を強みとし、ビルや工場、病院、商業施設などの設備環境の快適化、生産性向上等のオートメーションに携わる仕事をしています。

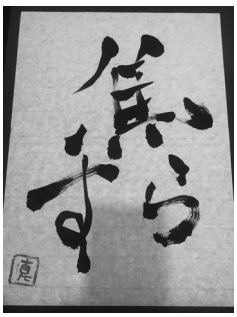
昨年度、社長に就任しましたが、課題山積で頭を悩ます毎日です。
そんな私のほっと一息をご紹介します。

私には、ひょんなことから、中学校時代の同級生と親戚関係になったことで出来た、唯一無二の友人がいます。
ここ数年の年末年始は、その友人宅で過ごしています。
私と友人はある危機感を感じていました。
それは、年齢を重ねるとともに、あっという間に時間が過ぎ去ってしまうこと。いわゆるジャーネの法則です。
このままでは気付いたら人生が終わってしまう。
そこで、人生をより豊かに過ごすためにあるルールを決めました。

事あるごとに、『旬を楽しむ』をテーマに、旬のものを食したり、季節の行事に足を運び季節感をたっぷり味わっていくこと。面倒くさがらずに今を全力で楽しもうというものです。

【正月の書初め】

正月には、書初めをしています。



転がっていた筆ペンがきっかけで、久しぶりに筆と墨で文字をかいてみようということになり近くのダイソーで道具を買いそろえ、思いつくままに書いてみたところ、これが楽しいのなんの。あっという間に半紙が無くなります。
そして、なぜだか癒されます。

後々、調べてみたところ、墨の匂いは心を落ち着かせる効果があるそうで文字を書くことで心を整えることが出来る為、メンタルヘルスにとても効果的なのだそう。

当初は、新年の抱負を書いて、とびっきりの一枚を決めていたのですが、最近ではお酒を片手にイライラしていることや、嫌なこと、面白トピックスなどを大喜利形式で文字にして皆で笑い飛ばしています。
口に出すとトゲになる言葉も、文字にすると不思議なもので嫌味になりません。

むしろハイセンスなジョークとなります。是非、試してみてください! (結果は保証出来かねますが…)

【フラワーアレンジメント】

お正月のアレンジ

6年程前から、フラワーアレンジメントを習っています。
もともと、花や植物が好きで、自宅や会社にグリーンを飾ろうと思ったのがきっかけです。

季節のお花や植物と接することで、五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)が使われ、脳を刺激し活性化する効果があるとのこと。

また、色彩理論の勉強にもなり、様々な資料作成のデザインや校正などに役立っています。

【珈琲と陶器と金継ぎ】

珈琲好きな母の影響で、豆を挽く時の、鼻をくすぐる芳しい香りを子供の頃に知ってしまった私。
大人になってからは、美味しい珈琲をステキな器で味わいたいと思うようになり陶器に拘るようになりました。
お気に入りの器が欠けたり割れたりすると、かなり凹んでいましたが、今、金継ぎという新たな技を習得中です。
My陶器は現在、漆塗布後の乾燥作業中で、最後の金粉の振りかけに至れば完成です。

コーヒータイム

埼玉の元気を創る　中小企業家

㈱インスピリッツ（大宮東地区会 ）

埼玉県さいたま市桜区五関 449-3-102
TEL070-4443-1700
http://inspirits-tennis-club.com/

越谷市にあるトマトインドアテニスクラブ会場

㈱インスピリッツはほぼ毎日テニスの試合を開催する企業。毎日試合をやることで、勝つという成功体験をしてもらい、自信につなげてもらう。また負けた場合もアドバイスをしてうまくなってもらうサポートを事業として行ってきました。

会社の場所は荒川の河川敷。数年に一度洪水がありますが、うまく付き合いながら運営してきました。顧客のリピート率も高く、現在では埼玉県内でも25会場を利用するまでに拡大しました。集客力もつき、テニス業者向けのセミナーも行うようになりました。しかしコロナによって経営状況が一転し倒産の危機に陥ります。

現状打破のためには何をすべきか―。経営指針づくりセミナー（以下、指針セミナー）は以前より地区会の仲間に勧められていましたが、自社のサービスには自信を持っていた増田氏は受講へは至らずにいました。しかしコロナ禍での2ヶ月の休業や資金不足に直面したとき、昔自分の中にあった「幸せ像」や「情熱」がなくなっている事に気がつき、自社のビジネスを考え直す必要性を感じたため、指針セミナーを受ける事にしたそうです。

【経営指針づくりセミナーに参加】

指針セミナーを受講した感想は「本当に厳しかった」との事。更にやることも増えて続けられるかが不安だったそうです。それまで自社のサービスには自信がありましたが、経営を数字面からとらえることや、企業の未来を全く考えていないことに愕然としました。このままではスタッフみんながそのままおじいさんになってしまう。事業計画とビジョンを社員と共につくり、その共有が必要と気がつく事ができたそうです。

セミナーの厳しさは想像していましたが、実際に厳しい意見や質問が飛び交う事に四苦八苦。しかしそれに受け答えしていく事で自分の中でビジョンが整理されていく事を感じたそう。グループの仲間が一緒に取り組んでくれたことも支えになり、仲間がいたからでき上がったと思える理念となりました。

【理念を社内へ】

「理念ができると何をすればいいかが見えてきました。実は受講は社内にてオンラインで受けていたため、スタッフに受講する姿を見られていました。それが逆に功を奏し、その場でスタッフに自分の考えを共有できたのは大きかったですね。そして最終的に理念が決まった段階で会社の向かう方向をスタッフと確認する事ができたと同時に、スタッフとのコミュニケーションの大切さを学ぶことができました」

【スタッフとのコミュニケーション】

今まで毛嫌いしてきた事も理念をもとに前にすすめる事ができ、やれる事も増えたそうです。社員の自発性を促す目的もあり、スタッフにはアイデア1つに500円払う「500円アイデアシート」を提案したのもその頃です。「想像以上にアイデアが集まりびっくりしました! 自身にはない発想の経営アイデアもあり、更にスタッフから出たアイデアを形にする事で、スタッフのモチベーションも上がり、金額以上の効果を出すことができましたね」と、社内の前向きな空気に目を細めます。

【インスピリッツのこれから】

現在は全国展開を視野に入れて駒を進めているという驚きの進化を遂げるインスピリッツ。これも理念をもとに明文化した結果、声がかかる前にすすめる事ができた一つだそうです。「さらにテニスプロリーグの設立などテニスの「観る文化」の定着を進めています。また一緒に働く仲間の夢を叶える企業として進んでいきたいですね」と力強く今後を見据えます。

「今回経営指針を受け、自分の考えだけではなく経営者仲間と話す機会の大切さも学びました」と増田氏は語ります。テニス業界の変革が埼玉から起こる!そんなパワフルな考えをスポーツだけでなく経営でも見せてもらい、取材側もとてもよい刺激になる取材となりました。

（紫田大智 記）

試合後にスタッフと

vision

2022年春に骨子が完成予定
埼玉同友会『長期ビジョン』づくり

埼玉同友会長期ビジョン作成が始まり、各地区会より多くの会員が集い、2022年度県総会での骨子発表に向けて、話し合いを重ねています。このプロジェクトのリーダー、吉田雄亮副代表理事に作成に至る経緯や、ビジョン作成の意義、そこにかける想いについてお聞きしました。

香川までビジョンの背景を視察に

長期ビジョン作成が最初に議題にのぼったのは、2019年度第1回の正副代表理事会議でした。ちょうど前回作成した2020年ビジョンの最終年となり新たな長期ビジョンが必要だと、太田代表理事の言葉からはじまりました。

それを皮切りに正副代表理事会で話し合いを重ね、同年11月には、事務局を含む正副代表理事5名で香川同友会に、香川同友会の長期ビジョン作成までの経緯を聞きに行きました。

その後、新型コロナウィルスが発生して思うように進まない中、2021年3月に理事研修会で長期ビジョンに関する勉強会を行い、理事の皆さんと長期ビジョンに対する意識を高め合いました。障全交の準備に追われながらも、同年、8月に長期ビジョン会議をスタートさせることができました。

おかげさまで　第1回のオリエンテーションから20名以上の参加をいただき、前回からは30名近い参加者となっており、埼玉同友会会員のビジョンの理解度を物語る数字になっているのではと思います。

同友会ビジョンづくりを自社経営にいかす

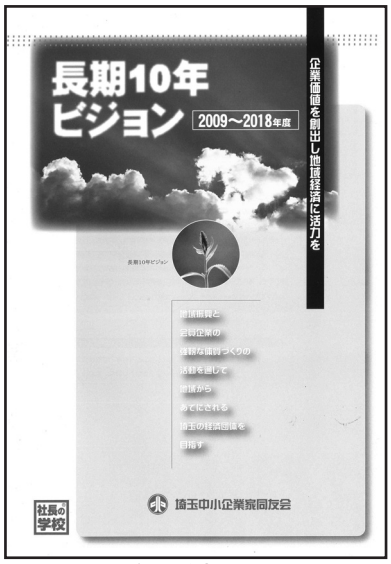
参加者には同友会の長期ビジョン作りだけではなく、自社の長期ビジョン、経営指針作りの参考にしてもらい会議参加を通じて自社と同友会の不離一体を体感できるようにしていきたいと思います。

ビジョン作りの中身は経営指針セミナーを参考にして、過去の振り返りからスタートしました。第1回は新井俊雄元代表理事から2018年ビジョンについてご報告いただきました。第2回は切山英彦元代表理事から埼玉同友会の歴史と三位一体の企業作りを中心にご報告いただきました。第3回は中同協の平田美穂政策広報局長からご報告いただき、コロナ禍の中小企業づくり、地域づくり、同友会づくりについて学びました。11月、12月は同友会運動、学びの本質、会員個人の成長と様々な角度から強みと改善点を考えるブレインストーミングを行ってます。1月からは企業づくり、地域づくり、同友会づくり各部会で骨子を作成して全体テーマを決めて3月11日の理事会に提案して4月定時総会で骨子発表の予定です。

骨子作成後は2023年4月定時総会に向けて本格的な長期ビジョンを作成する予定となってます。

会議時間は午前中が中心ですが朝のフレッシュな状態で未来を考える会議をする事により、新たな発想が出ると思います。

これからの参加でも大丈夫です。皆さんの参加を心よりお待ちしております。



2009年に発表された
埼玉同友会長期10年ビジョン

（副代表理事 吉田雄亮 記）

現在のコロナ禍において、中小企業を取り巻く環境は、大きな転換期にあります。

厳しい環境の中、中小企業の経営を維持し発展させることは並大抵のことではありません。しかし、だからと言って経営者が情勢の困難さを口実にして、自社の経営や同友会の活動を止めてしまっては、その責任を十分に果たしているとは言えません。

今こそ転換期にいる私達が、先輩達が築いてきた会の歴史と理念を学び、新しい時代を展望する必要があります

長期ビジョンの作成は、自社や地域を革新し、地域や企業で働く労働者の幸せにつながるものと信じております。会員各位からの多様な経験と知識を広く交流することにより、持続可能な埼玉同友会が未来へ継承されることを心から願っております。

（代表理事 太田久年 記）

各地区会で開催された例会をご紹介します。

【川口地区会12月例会】

指針セミナー受講後1年で自社が変化した&2021望年会♪

報告者:山室 奈美 氏〈行政書士 山室事務所 代表〉

昨年、指針セミナーを受講した山室奈美氏にその後どのように変化したかご報告いただきました(セミナースタッフの方も多数参加)。

2012年に行政書士事務所を開業し、停滞期を迎えていた山室氏はコロナ禍で指針セミナーを受講し、なぜ開業したのか、どう役に立って未来を作りたいかなどを思い返し、初心に戻ることができたそうです。

その後はスタッフの方々のアドバイスを即座に実践し、YouTube動画での販促、アンケートの実施などを行い、早速新規契約も入り、売上増となっているとのことでした。
市内事業者交流会への参加や女性起業家への支援活動なども精力的に行い、先頃、川口市の地域貢献事業者にも認定されました。

2022年はさらに地盤の強化を図り、スタッフも増員し、皆で幸せに働ける会社を目指したいと語っていただきました。

短期間の間に吸収、実践され、その前向きな報告内容に刺激を受けた私たち参加者は、望年会も兼ねたグループ交流後、来年の抱負などを1分間スピーチで各自が発表し、今年最後の例会を和やかに締めくくりました。

(中島伊都子 記)

【浦和地区会12月例会】

人を活かす経営・組織について考える

佐取幸一郎氏〈社会福祉法人うらわ学園 理事長〉

報告者の佐取氏は、約10年前に教職から社会福祉法人の経営者に転身された希有な経歴を持つ方。

教職の頃は「運営(組織の効率化)」が仕事のメイン。そして転身先のうらわ学園では「経営(収益の最大化)」をしなければならず、当初はその大きな違いに戸惑い、「経営者とは?」を自問自答する日々だったそうです。

その中で試行錯誤しながら実践し続けた、特色ある人財育成と働きやすい職場づくりにより、離職率が低く収益性の高い強靱な組織に変貌をとげていったようです。

地区会としては約2年ぶりのリアル開催(Zoomも併用)。

佐取氏の報告を受け、久々の対面でのグループ討論では、「『すべて』の仲間が光る経営には?」をテーマに経営談義に花が咲いていました。

(大森靖之 記)

【東部地区会12月例会】

シリーズ中小企業とは何だ?② 自社と地域の継続的な発展のために地域企業として何ができるのか?

報告者:濱口豊大教授〈埼玉県立大学 研究開発センター長〉
山﨑清彦氏〈㈱山崎メディアミックス 代表取締役 〉

濱口豊大教授

山﨑清彦氏

コロナ禍に苦しんだ2021年最後の12月例会。12月16日に行われた地域づくり委員会の報告です。

地域づくり委員会はシリーズで学ぶ例会づくりを心掛けており、今回は地域社会の主役である我々が、実際に地域発展のためにどういった事ができるのか、という事をテーマとしました。

委員長の山﨑氏がたまたま商店会の会長であった事、そしてその町会と近くにある埼玉県立大学の発展を目的としたコラボが立ち上がった事、それを受けて、同大学の濱口教授をお迎えして、山﨑委員長との対談形式で報告頂きました。地域包括システムを軸に商店街の課題、教育研究機関の課題を抽出しあい、実際に行われ始めたコラボな内容を報告頂きました。内容は企業として、機関としての問題のみならず各々の健康問題にまで波及しました。地域そのものや地域の資源に目を向ける事により、自社の発展はもちろん自社の所属する地域、係わる機関、そして健康問題にまで繋がっていくのが印象的でした。また今回は大変たくさんの学生さんや行政方にもご参加いただきました。

グループ討論は「地域の構成員とともにどのような連携ができますか?」というテーマにて行いました。とかく企業家目線での討論になりがちだと思いますが、いろんな立場の方の意見を聞くことができ、大変刮目すべき内容盛りだくさんの例会になりました。

(出雲武 記)

report

埼玉中小企業家同友会 2021年度第4回理事会議事録

《2021年度スローガン》 今こそ本質を見極め「人を生かす経営」の総合実践を ～同友会の優位性を発揮し激変する経営環境に立ち向かおう～

◆日時：2021年12月17日(金)18:30～20:30
◆会場：Web会議(Zoom)
◆司会・議長：植竹副代表理事
◆議事録署名者：金子副代表理事
◆議事録作成者：清水事務局長

・小松代表理事挨拶

先日、トヨタがいよいよEV車の開発に着手することが発表されました。現在のこの多様なニーズに応えるには今までのような平均的な策のようなものは最善策でない。大変ですが多様なニーズを一つずつかんでいくことが大事だと言われています。話は変わりますが今年も同友会は中同協より国に対しての中小企業家の要望を提出し、埼玉でも県に対して政策要望を出しています。その中で最低賃金の引上げについては全国共通の問題です。我々中小企業はどのように乗り越えていくかが今後も継続課題です。ここの所、経済団体として色々な方面から経済・経営についての意見具申の要請が来ています。その中でも「カーボンニュートラル」、「在籍型出向」等の新たな問題・課題の会議に参加して頂いている会員経営者もおります。忙しい中、皆さん、ありがとうございます。

Ⅰ. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

協議事項

1.第49回定時総会について(小松代表理事、菊永・金子副代表理事、田ノ上主任)

1)総会概要、記念講演候補選出

①2022年度定時総会の開催日予定：4月16日(土) or 4月23日(土)となった。

②企画内容：今回の定時総会は第1、2部構成(第3部懇親会はなし)、開催方法については昨年と同様の実施方法でオンラインの活用を図る。また、開催意義としては県総会として開催するが2023年に埼玉で開催される中同協の定時総会の準備のキックオフ総会としていく。

③記念講演報告者候補選出：澤浦彰治、中村高明、森俊彦、高橋正志の4氏が候補となった。アンケートを実施した結果、候補者優先交渉順位は森氏、澤浦氏、中村氏、高橋氏の順となった。

2)2021年度総括・2022年度活動方針(案)

議案作成会議で活動総括及び方針を検討している。現在は総括について討議していて年内には総括をまとめ1月より次年度方針の検討に着手していく予定。

報告事項

1. 全県経営研究集会進捗状況(高橋副代表理事)

2021年度全研について高橋実行委員長から日程、スケジュール、概要及び進捗報告があった。続いて記念講演者の㈱アイワードの代表取締役社長 奥山敏康氏について紹介があった。参加目標は会員420名、ゲスト80名の合計500名だが本日までの集計結果としては118名、24%の参加の実績。地区会でなお一層の全研参加の声がけをお願いした。また、今年度のグループ長研修は設営の西部地区会主導で2回実施することが報告された。

・全県経営研究集会開催日：2022年2月15日 開会：13：30 閉会：19：00

2. 埼玉県への政策要望・提言報告(米山政策委員長)

2021年11月10日(水)に埼玉県に対して産業労働部を通じて2022年度の政策の要望・提言を実施した。当日はオンラインで同友会7名、埼玉県担当者14名で意見の交換を行った。今年はオンラインで実施し、活発に懇談ができた。また開催後後日、金融課とは個々に協議をする場を得て、今後の金融に対する中小企業の要望を伝えることとなった。県より埼玉同友会が認知されてきている。

3. 地区会長会議報告(奥津副代表理事)

障全交の振り返り、全研等の協議の後、各地区の前期総括及び後期の活動について確認、特に幹事会、例会については参加率について、続いて今年度課題にしている「リーダーシップ」について参加者で討論を実施した。

4. 委員長会議報告(髙橋副代表理事)

障全交の学びと総括の意見交換を実施しその後、各委員会の前期総括及び後期の活動について確認。続いて2021全研の分科会の進捗状況とオープン学習会の計画について各々話し合いを実施した。

5. 役員選考委員会報告(奥津副代表理事)

2021年12月1日(水)にオンラインで実施した第1回役員選考委員会について報告があった。その後、地区会推薦理事、委員会推薦理事について選出を依頼した。次回は2月に実施予定。

6. 議案作成プロジェクト報告(金子副代表理事)

2021年12月8日(水)に第1回議案書作成会議で次年度議案の総括の検討に入ったとの報告があった。正副会議、理事会と連携して総括については1月上旬でまとめ、方針については1～2月中に作成して、3月11日(金)の理事会に上程する予定。

7. 経営指針発表会実施報告、2021年度経営指針セミナーについて(満生経営労働委員長)

2021年11月20日(土)に2021年度のセミナー修了式及び指針発表会を実施した。今年は16名が発表まで漕ぎ着けた。今年もオンラインでの開催となったが皆、しっかりと企画して対面と遜色のないセミナーが開催できた。次年度についてもオンラインの長所を活かしていきたい。

8. 2023年度 中同協第55回定時総会in埼玉の設営の為の実行委員、実行委員長募集(小松代表理事)

2023年度開催予定の中同協定時総会in埼玉の実行委員、実行委員長の募集が小松代表理事よりあった。自薦、他薦どちらでもよいので奮って応募していただきたい。第一次の締め切りは2022年1月26日(水)

・日程予定：2023年7月13日(木)～7月14日(金)リアル開催

9. 埼玉同友会長期ビジョンについて(検討会)(吉田副代表理事)

2021年11月24日(火)に実施された長期ビジョン検討会を含め、現時点の長期ビジョン検討の進捗状況の報告があった。次回開催は12月21日(火)だが次回も新たな題材を基にブレーンストーミングを実施していく。年明けから各分科会に分かれて骨子を検討して4月の定時総会に発表していく。理事以外も参加可能なのでどなたにもと参加の要請があった。続いて参加している会員の4名から報告があった。

【企業づくり部会】

中部 山﨑 一樹氏 ㈲ベストプラン 取締役

・参加して埼玉同友会の歴史を知ることは良いことだと思った。
・グループ長のグループ討論での差配がすばらしかった。
・現在、ビジョンを皆で作り上げていこうとしているがこの方法は自分が主体となって参加している感がある。誰かが決めたものではなく自分が関わった事で多くの気づきを得られた。

【地域づくり部会】

大宮南 清水 小百里氏 ㈱KMA 取締役

・自社が地域と関わりたいと思っていたが参加してみて自社の取り組みが間違っていることに気づいた。地域に必要とされる企業になって初めて地域と関わることができてくる。
・地区会でも地域について勉強していきたい。自社ができること、会員と共にできること等。
・常日頃、起業したら企業になることを考えていたがこれからは地区会内でスタッフのいない企業等も地域に関わることができるようフォローできるよう努力していきたい。

【同友会づくり部会】

戸田・蕨 小山 展弘氏 泰清倉庫㈱ 代表取締役社長

・新井氏、切山氏の話を聞いて長い歴史の積み重ねで今があることが分かった。経営するのに必要な事は何なのかも聞くことができた。
・コロナ禍でもオンラインで活動を継続した同友会は他でも類を見ないのではないか。同友会はこの状況でも仲間の絆を切らさないことは素晴らしいことだ。
・今後検討会に出ていない人をどうやって呼ぶのかではなくてその方たちが関心を向けてくれるようにするのが良いのではないか。

川口 小松 和人氏 ㈱こまむぐ 代表取締役

・埼玉同友会の歴史を知ることができたのは大変な学びとなり良かった。
・長期ビジョンは次の10年に向けて策定していくが次の50年のスタートアップになるようにしてくことも大事だ。
・作成に当たっては期限を設けずにしっかりと徹底して作りこんでいくことは大事。このことはいかに経営者が自社に落としていくかと同じだと思っている。参加するたびに気づきを得ることができている。

10. 他県同友会の一般社団法人化の動向について(清水・大藪主任)

他県で1000名以上会員を有する同友会では任意団体から一般社団法人になることが見受けられるようになってきた。今後、正副代表理事会議で協議を重ね、一般社団法人化がどのようなものでメリット、デメリット等はどのようなものかを検討する事となったことの報告があった。

11. その他

・彩の国ビジネスアリーナ出展について 2022年1月25日(火)～2月14日(月)(田ノ上主任)

2018年に東彩地区会が主体となって出展した「彩の国ビジネスアリーナ」に2022年も同友会の周知をはかるために出展する。今年も昨年同様でオンラインの開催になる。

・第52回中小企業問題全国研究集会in大分について(2022年2月17日～18日)(清水)

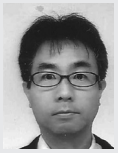
「中小企業家しんぶん」12月15日号掲載の第52回中小企業問題全国研究集会in大分は人数制限を設けてのリアル開催になる。そのために各県に参加定数の連絡が来ている。埼玉同友会の定数は8名。定数オーバーの場合は、抽選となることが報告された。

新たな辞書の1ページ 新入会員紹介 (12/1~)

神永哲也
㈱ゲンダイ
東彩地区会
商業施設や店舗における木工什器制作、内装工事のトータル的な工事サポート、イベントにおける木工事等

吉澤裕太
司法書士法人 奏
大宮南地区会
不動産登記手続き・売買相続など、相続発生後の遺産承継業務、成年後見、家族信託、遺言、商業登記手続き、法人設立、役員変更、増資等

鈴木美佐子
㈠社)あるかでぃあ
浦和地区会
障害福祉サービス事業



小出水 宏泰
行政書士
さくら行政法務事務所
東部地区会
相続、事業承継、遺言、死後事務委任、成年後見に関する手続きおよび支援業務

伊藤 健
㈱ディスプレイイトー
川口地区会
店舗内装デザインから施工、住宅リノベーション、ディスプレイ什器

同友会日誌 12月1日~30日

1日(水) 浦和幹事会、2022年度役員選考会、埼葛幹事会
中部幹事会、むさし野幹事会
2日(木) 北部幹事会、戸田・蕨幹事会、大宮中央幹事会
東部幹事会
3日(金) 正副代表理事会議
6日(月) さくら幹事会、東彩幹事会、彩北幹事会
7日(火) 人を生かす経営勉強会、大宮東幹事会、川口幹事会
川越幹事会、西部幹事会、大宮南幹事会
8日(水) 2022年度議案書検討プロジェクト、社員教育委員会
オープン学習会、広報情報化委員会
9日(木) 経営労働委員会、学べる経営労働委員会
10日(金) 全研実行委員会
第5回実践学習会(仕事づくり委員会)
13日(月) ファム幹事会・ミニ学習会
14日(火) 共同求人委員会、「共同求人で学ぶ」定例学習会
障害者雇用推進委員会・例会
15日(水) 埼葛例会、浦和例会、むさし野例会
16日(木) 北部例会、大宮中央例会、戸田・蕨例会、東部例会
大宮南例会
17日(金) 正副代表理事会議、理事会
18日(土) 中部例会、西部例会
20日(月) 彩北例会、政策委員会
新入会員オリエンテーション、さくら例会
東彩例会
21日(火) 長期ビジョン検討会、川越例会、川口例会
22日(水) 2022年度議案書検討プロジェクト、青年部幹事会
仕事づくり委員会
23日(木) 全研グループ長研修
27日(月) 青年部例会、むさし野正副連絡会
28日(火) 社員教育委員会

会員information

《役職変更》

戸田・蕨地区会　サンライト㈱ 松田武雄会員
取締役会長へ

《住所変更》

川越地区会　税理士法人 TMコンサルティング
山取大希会員
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町13-22
仲ビル5F

全研 記念講演報告者資料を本誌に同封しています

2月15日(火)に開催される、全県経営研究集会の記念講演報告者である、奥山敏康氏(㈱アイワード 代表取締役社長)の会社資料を本誌に同封しております。

ぜひご一読いただき、当日はお手元にご準備の上、ご参加ください。

なお、全県経営研究集会のお申込み締め切りは、2月8日(火)です。

e.doyuよりご登録をお願いします。

ご不明な点は事務局にお問合せください。

会員数 2022年1月12日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川口	59	大宮南	77	北部	30
戸田・蕨	47	西部	40	さくら	85
浦和	73	むさし野	91	川越	83
大宮東	39	東部	129	東彩	57
大宮中央	33	中部	46	彩北	17
		埼葛	49	計	955

編 集 後 記

去年から今年にかけて人生が変わるほどの怒涛の2年でした。

コロナ禍で仕事の消滅・・・仕方なく大金を借金、最初の自粛期間中に救急車で搬送されるほどの息子の怪我、今年83歳になる母親の骨折・手術入院からの施設入居。更には妻の不注意で全身麻酔で手術する程の指の怪我。暗い話題ばかりで明るい話題は？そう同友会に入っていた事。暇になって経営指針づくりセミナーを受ける気になった事。沢山の先輩仲間に助けられた事。遠い所にあって自分には縁のない物と思っていた経営理念が策定出来た事。苦手分野に挑もうと思える様になった事。

(東部地区会 島袋てるひと 記)

自分が会社を守るんだ!覚悟を決めた原動力

山下 太一

やました　たいち

㈱グレイト
取締役
戸田・蕨地区会
東京都板橋区中台1−36−2−102
TEL:03−6383−0170
https://great-net.co.jp/

■幼少期から学生時代は・・・

東京都板橋区に出生した山下氏は、親が家を購入し、3歳の時にさいたま市内に引越され幼少期を過ごしました。学生時代は、野球に打ち込んでいましたが背が伸びず、また視力が悪かったため挫折。中学からは祖父の影響で卓球に打ち込み、高校卒業まで都大会ベスト8に入賞しました。

そんな学生生活を過ごされた山下氏は、学生時代から技術職に就きたいと考え工業高校に入学しましたが、その当時はまだ実家の仕事を継承しようとは思っていなかったそうです。高校の進路を考えているときに、中学生ながらに「いずれ同じ仕事をするのかな?」と親に投げかけたところ、きつい仕事であり稼げる仕事ではないため難色を示し、「自分の好きな仕事をしたほうが良いのではないか」と言われたとの事でした。

大学時代にはカナダのレスブリッジに2年間留学しました。学校生活は、英語の授業もついていけず毎晩エッセイを書く毎日で、山下氏いわく暗黒時代だったとの事です。オープンな海外生活に戸惑いもありました。カナダでは女の子と当たり前のようにハグしたりキスしたりと日本人の山下氏には青天の霹靂だったと語ります。

カナダから帰国後、自分はシャイでしゃべれない日本人だと思っていたけれど、そういう自分ではなくなったと気づいたとの事です。

■いよいよ社会人へ突入

その後、いよいよ就職活動を始めようとした山下氏ですが、就職氷河期真っ只中。一般企業に就職するのが難しそうだなと感じ、電気工事業を営む実家と同じ仕事をしている叔父の話を母から聞きました。すると叔父は会議のために横浜まで新幹線に乗ってるとの事で、実は叔父の会社は儲かってるんじゃないかと思い、働くことを決意されました。

叔父から、「いきなり会社に来ると甘えてしまうから外を見て来い!」ということで京都の会社を紹介され就職しました。

入社した会社の社風は、先輩は「背中を見て成長しろ!」スタイルだった為、細かいことは教えてもらえず気合と根性で乗り切っていました。実際にお客様に唾を吐かれたり、怒鳴られたり、名刺を破られるなどもありましたが、同時に自分の至らなさにも気づかされました。こうした生活を2年間送りました。

■叔父の会社に就職

創業者の祖父と祖母が他界したことにより、関東に戻り叔父の会社に就職しました。

そしてその時は自分がこの会社を守るんだ! という強い覚悟を持ちました。しかし会社では20代が自分だけ。会社の平均年齢は40代半ば。事務員さんも言葉遣いがなってない、会社がうまくいっていない様子を目の当たりにしました。自分が一番年下の為、行動で示さなければと現場仕事をひたすらこなしました。

入社5年が経ち、いよいよ取締役になりましたが、どこから手を付けて良いのかわからない。そんな時に会員の石井氏と飲み屋で出会い同友会に入会しました。

そこで経営指針セミナーの誘いを受け、忙しい中でも必要性を感じ受講を決意しました。

半年間、時間を作ることが大変でしたが、その効果も大きく「どう頑張れば良いのか分かった。同時に社員への仕事の頼み方などを学び、改めて時間の使い方が分かった。ぜひ他の会員にも指針セミナーを勧めたい」と、受講後の思いをお話くださいました。

プライベートでは最近ご結婚された山下氏ですが奥様と食事するのが楽しみな様子です。

今の原動力は辛い時も奥様の支えがあってこそであり素晴らしいご夫婦だと感じました。

これからも益々のご発展を祈念しております。

（木村亮介 記）

埼玉同友会
広報情報化委員

●委員長●
東彩 齊藤壽和
●副委員長●
川越 小田 明
埼葛 松本賢二
中部 矢澤敦臣

戸田・蕨 石井孝徳
●委員●
川口 福井千波
山本佳奈子
戸田・蕨 木村亮介
浦和 三友哲哉

大森靖之
大宮東 柴田大智
大宮中央 鈴木光義
大宮南 加藤早苗
高橋浩明
西部 綱川めぐみ

村里忠輔
むさし野 古崎千穂
東部 鈴木一朗
宇野碧留
藤元天美
島袋輝仁

小川洋一
中部 中山晴喜
埼葛 今村達郎
北部 東禎章
さくら 水野純子
遠藤裕行

彩北 江田雅之

●制作担当●
杤込博久
●印刷・製本●
加藤早苗
●事務局●
古川佳子
（順不同・敬称略）

■ 2022年2月1日発行(毎月1回1日発行)■発行元／埼玉中小企業家同友会〒338-0001さいたま市中央区上落合2-3-2新都心ビジネス交流プラザ10F ■ TEL 048(747)5550 FAX 048(747)5560
一部200円